

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス暖母 多の津Ⅱ		
○保護者評価実施期間	R7年 1月28日		～ R7年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	R7年 2月 15日		～ R7年 3月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの主張を聞いて1日の流れを相談して決める。(主体的子どもの参加)	個別でスケジュールボードでの意思確認。	自分のしたいことを言葉で表現できない場合は、提案や選択方法を持ってコミュニケーション
2	1日を肯定的に評価して、自尊感情を育てる。	スケジュールボードを利用して、1日の振り返りと※評価で終える	低学年用、高学年用を利用し、インクルーシビリティとして、放課後家庭で利用できるスケジュールボードを作成予定。
3	お子さんの苦手な課題や特性を十分に評価し、個別、小グループでのクラス分けを行い、支援の方法を一貫して行えるよう環境を作っている。	集団規模、刺激の影響、モデルの必要性、SOSなど表現しやすい環境などに配慮して、丁寧に環境設定し、職員との時間やお友達との時間を充実させ、課題解決の方法を身につけられる機会を意図して設定している。	専門職員や担当職員など人間関係の上でもお子さんの課題に合わせた人との関係を計画的に準備していく。 地域の方との関わりにつなげたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎時間に時間が取れ、個別で丁寧に関わる時間が取りにくい。	送迎職員の確保。 子ども達との活動の中で、要領よくサービス提供が出来るための知識や技術の向上	特性や支援の方法の研修会参加 カンファレンスの時間確保
2	送迎場所が多様なため、遠くの外出が難しい。	同じ規格を2日に分け、送迎区域別に外出を行う。	
3			